

平成31年度大学入学者選抜の公正な実施に向けて

[文部科学大臣メッセージ]

大学入学者選抜については、公正かつ妥当な方法により、適切な体制を整えて行うものとされており、これまでも通知等において、入学者選抜の公正な実施について各大学の留意を促してきたところではありますが、この度、文部科学省の幹部職員が大学入学者選抜に関わって大学から便宜を受けていたとされる事件をきっかけに、東京医科大学の入学者選抜において不適切な事案が明らかになりました。

この事態を受けて、文部科学省では、医学部医学科の入学者選抜における公正確保等に係る緊急調査を開始しました。現在もなお、個別の大学への訪問調査などの調査を継続しているところですが、東京医科大学の他にも複数の大学の入学者選抜において、不適切である可能性の高い事案が明らかとなり、真摯に受験勉強に取り組む受験生の努力を裏切り、大学に対する社会的な信頼を損なう事態に至っていることは、大変遺憾であります。

不適切である可能性の高い事案が明らかとなった各大学が、社会的な信頼を取り戻し、受験生が安心して受験に臨める環境を早急に確保するためには、まずは不適切である可能性の高い事案について、その具体的な運用状況やその経緯等について確認を行い、大学自らが社会や受験生に対して丁寧に説明することが必要です。

その他の各大学におかれても、この度の事態を踏まえ、従来の通知の留意点等について改めて確認を行うとともに、今般とりまとめた、医学部医学科の入学者選抜の公正確保等に係る緊急調査の中間まとめの内容等も踏まえて、平成31年度入学者選抜の公正な実施に向けて、再度入学者選抜方法の点検や周知を行うなど必要な対応を取られるよう期待します。

文部科学省としては、一連の不祥事を真摯に受け止め、社会的な信頼を一刻も早く取り戻すため、私自身が先頭に立って、様々な政策課題に取り組んでいるところであり、大学入学者選抜の公正確保についても全力を挙げて対応します。

今年度、大学受験に臨もうとしている受験生におかれては、これまで通り日々の学習に励んでいただくとともに、試験当日に日頃の努力の成果を存分に発揮できることをお祈り申し上げます。

平成30年10月23日
文部科学大臣 柴山 昌彦